

幸田駅前周辺再開発計画を



長谷川 進 議員



次期総合計画の重要項目とする



区画整理事業 令和5年度完了

幸田駅前開発計画図案、駅前広場自由通路の構想を問う。

問 幸田駅前周辺再開発計画案はあるのか。

答 建設部長▼駅前銀座とコンビニエンスストアと土地活用が始まっており、土地区画整理事業は今年度で完了した。

企画部長▼幸田町の玄関口としてふさわしい、新たな交通結節点（橋上駅や自由通路、駅前広場等）の構築を検討し策定予定。

問 幸田駅前周辺再開発資金確保計画は、建設部長▼駅前整備としては、基本的に財源は県のお金となる。

答 建設部長▼駅前整備は重要な案件。計画性を持ってその財源確保に努める。

問 駅前周辺再開発計画を、次期総合計画の重要議案として検討いただきたい。

答 次期計画の第7次総合計画策定の中で、重要項目として押さえていく。

実践型防災訓練の在り方は

情報連携・情報共有は大変重要

防災訓練が実際の災害に本当に役立つものか問う。

問 災害発生時の一連の流れを想定した実践型防災訓練の在り方はどうすべきか。

答 総務部長▼地域との情報連携・情報共有は非常に重要。各区の情報共有訓練を実施し、防災体制を醸成した上で、将来的に町全体での訓練に取り組む。

り組む。

問 幸田町全区へのマニュアル作成標準化に対する考えは。

答 安全テラスセンタ―24を活用し、地区に合った訓練を考えたい。

問 ファーストミッシヨンボックスの各区への配布はいつ頃か。

答 令和6年度に避難所における訓練、手順書作成の相談会を実施、各避難所に合った物品を検討していく。

問 ファーストミッシヨンボックスの活用はマニュアルに従えば簡単に運用できるか。

答 誰が見ても内容が分かり、行動に移せる手順書となるよう進める。

問 自主防災会と自警としての役割、行

動が理解されていない。

答 通常火災の場合は、車両誘導や避難者のケアなどの、後方支援をお願いしている。

元気な高齢化社会を築く施策は

高齢者が参加しやすい環境に

さらなる高齢者支援の充実を問う。

問 元気な高齢者社会を築くために、今後の施策は。

答 教育部長▼高齢者が参加しやすくなるような環境改善を各団体と相談する。

健康福祉部長▼老人クラブ活動助成としての補助金交付や、会員拡充に支援協力していく。



たきょう つよし
田 毅 議員

県制度を活用し担い手確保を

人口問題分析し施策設定



愛知県では首都圏から移住支援を推進。地方の担い手を確保する施策を問う。

問 愛知県の移住支援に追従する考えは。

答 環境経済部長▼積極的に推進すべき事業。県と連携し、令和元年度から継続して予算化している。実績は無い。理由は、申請要件となる移住元、U・I・ターン支援センター登録している企業が限られている等。

問 本町の人口増加した好循環のしくみを基に、どのように対応する考えか。

答 企画部長▼企業誘致と住宅開発の両輪における好循環の流れを、今後も継続する。

問 人口減少社会では「戦略的に縮む」成長を考えなければならぬ。

成長を考えなければならぬ。

答 らない。今後の課題は、移住を促すための、ある程度まとまった可住地がない。

問 県制度を最大限活用し、担い手確保施策を立案する考えは。

答 次期幸田町総合計画、総合戦略改訂は、人口問題分析し、将来目標人口と具体的な施策設定が必要。県では人口問題対策として、令和6年度補助金制度を拡充。県動向を踏まえ事業推進したい。

問 本町の人口増加した好循環のしくみを基に、どのように対応する考えか。

ことば解説
【※U・I・ターン支援センター】
U・I・ターンを促進し、県内企業の人材確保を図る施設。

不安安全抽出に防犯カメラ活用を

犯罪抑止目的の利用は難しい

交通事故の発生要因、事実を基に、的確な対策が望まれている。

問 公安委員会は、どのような考え方や判断で、信号機のLED化や標識と標示の更新を行うのか。

答 総務部長▼通学路、歩行者数、交通事故等の道路事情により、優先度の高い交差点から順次行っている。

問 本町で設置や更新が望ましいと認識されている信号機の対応

本町で設置や更新が望ましいと認識されている信号機の対応

象数は。

答 信号機は、地元要望で9力所の新規設置。更新要望している信号機はない。

問 交通事故につながる危険性を示しているか。

答 学校における通学路点検、地元要望に基づき、危険性高い交差点は、安全対策や警察へ要望する。重大事故発生交差点は、警察、道路管理者、防災安全課の3者で現場検証、安全対策及び交通

歩行者用信号機が設置されていない通学時の交差点

事故防止対策を行う。

問 歩行者用信号機が、設置できていない大迫交差点の現状は。

答 県道であることや、退避場所等を民地に確保する必要がある、設置が難しい。

問 当面の対応策の考えは。

答 歩道幅員の広い反対側を通行する対策を講じている。

問 交差点の不安安全抽出に、防犯カメラ映像の活用を。

答 犯罪抑止目的に設置しており、目的外利用は難しい。

問 生活道路の交通安全全対策ゾーン30導入の考えは。

答 区域内に居住する住民等の合意形成を図る必要があり、今後の課題である。



歩行者用信号機が設置されていない通学時の交差点